

## 行田市公共下水道事業の特性分析（汚水の概要）

令和4年4月1日現在

番号	項目	内 容		備 考
1	建設事業開始年月日	昭和25年11月6日		下水道管の埋設工事を始めた年月日
2	経過年数	71年5か月		
3	供用開始年月日	昭和43年5月1日		市民が下水道を使用できるようになった年月日
4	事業認可面積 (ha)	1126.00		下水道事業を行うため、埼玉県知事に許可を得た面積
5	処理開始面積 (ha)	931.85		下水道を使用できる面積
6	汚水ポンプ場数 (箇所)	6		緑町2箇所、谷郷、棚田、東谷、城西
7	整備率	82.8%		処理開始面積/事業認可面積
8	処理区域内世帯 (世帯)	20,809		下水道を使用できる区域の世帯数
9	処理区域内人口 (人)	45,088		下水道を使用できる区域の人口
10	処理区域内世帯人数 (人)	2.2		処理区域内人口/処理区域内世帯
11	現在処理区域人口密度 (人/ha)	48.4		処理区域100m×100m内の人口、40人以上が採算ライン
12	年間使用料収入 (千円/年)	528,601	(約5億2,800万円)	令和元年度～令和3年度の平均
13	総事業費 (千円)	49,127,751	(約491億2,700万円)	概算額。受贈財産を含まない (物価変動は考慮なし)
14	下水管布設延長 (m)	257,939	(約257.9キロメートル)	汚水管の布設延長 (雨水管は含まない)
15	管路1m当たり工事費 (千円)	190.5	(約19万円)	ポンプ場、処理場、その他費用を含む
16	1世帯当たり工事費 (世帯/千円)	2,360.9	(約236万円)	ポンプ場、処理場、その他費用を含む
17	1人当たり工事費 (人/千円)	1089.6	(約108万9,000円)	ポンプ場、処理場、その他費用を含む
18	企業債残高 (千円)	8,887,359	(約88億8,700万円)	借金残高
19	1世帯当たり企業債残高 (世帯/千円)	427.1	(約42万7,000円)	処理区域内1世帯当たりの借金残高
20	1人当たり企業債残高 (人/千円)	197.1	(約19万7,000円)	処理区域内1人当たりの借金残高